

まち

No.17 2021年 秋号

発行日：令和3年10月22日
発行：日本大学理工学部まちづくり工学科教室
☎03-3259-0531(学科事務室)
発行責任者：岡田智秀(教室主任)
編集担当：小木曾 裕、西山孝樹
制作：株式会社 ムーンドッグ

contents

巻頭言	1
特集 まちづくり工学科4期生の「職場での活躍」	2
学部3年生・修士1年生へ「就職活動へ向けて」	11
令和3年度前期“まち”行事・イベントカレンダー	13
退職教員挨拶	15
教職員・学生の活躍	16

巻頭言

“まちづくり”を専門にすること ―まちづくり黎明期を経てのメッセージ―

准教授 押田 佳子



私は毎年、1年生の必修科目「まちづくり工学インセンティブ」における教員紹介（挨拶）の際に、自身を「まちづくりを学問で学んだ初期の学生」と紹介している。というのも、自身が体験した阪神淡路大震災の復興まちづくりが、今私たちの知る協働のまちづくりの契機となったからである。

1995年1月17日午前5時45分に発生した阪神淡路大震災は、東日本大震災発生以前では戦後最悪の自然災害といわれ、犠牲者は6,434人に達した。被災地が阪神間の密集市街地であったことに加え、当時の関西では「関西は地震が少ないから安全だ」という根拠のない常識があり、十分な備えがなかったことも被害を大きくした要因といわれている。当時、高校生であった私は、この地震により負傷し、実家も全壊した。特に、地元の東灘区が受けた被害は壊滅的であり、私たちを含め住民の多くは、取りあえずの生活基盤を確保するために一度地元を離れたが、2学期が始まる頃には町内の半分程度は戻って来た。

住民が地元の再スタートとしてまず着手したのは、町内会の立て直しだった。300余名を亡くした教訓を活かすべく、最後まで地元に残った方が取りまとめてくれた情報をもとに、町内マップがつくられ、それまでほとんど機能しなかった避難訓練が行われるようになった。さらに、震災前は高齢者だけで行われた見回りや公園清掃、備蓄倉庫の点検に若い世代が参加するようになり、町内会への入会世帯数は以前よりも増加した。

このような地元の動きがどこからか伝わり、1年後あたりから阪神間のさまざまな大学が頻繁に調査に訪れるようになった。アプローチの仕方もさまざまで、アンケートやヒアリング調査の依頼のほかに、一緒に汗水垂らして活動に参加す

る大学生もいた。大阪在住の大学生であった彼女は、指導教員が地元駅前周辺の復興に携わった縁から町内会の活動を知り、参加していた。彼女から聞いた、私たちが関わっている広場づくりが住民発のまちづくり活動であり、地元を活気づけるものだという話は、私に強烈なインスピレーションを与え、現在の進路に至っている。

今年で阪神淡路大震災から26年が経過した。この歳月は地元で世代交代を促し、当時復興の象徴であった店は、昨年店長の他界と同時に閉店した。まち並みもすっかり変わり、震災前とはテイストの異なる住宅街となっている。一方で、町内会の皆でつくった広場は現在も活用され、当時はなかった活動部会が誕生するなど、新たな展開を見せている。

阪神淡路大震災を契機に発展した協働のまちづくりは、その後さまざまな場所、シチュエーション、目的のもと展開され、今や当たり前のものとなったが、今もなお、進化の過程にある。故に、これからも初心を忘れず、現地と向き合うことを大事にしたい。



川井公園：震災後に再整備された公園の1つ。震災の教訓を生かし、地下に貯水槽を設けた。被害が甚大であった東灘区では、積極的な公園再整備が進められた。

まちづくり工学科4期生の

職場での活躍

まち科4期生に聞きました。

1

どんなお仕事を
していますか？

2

コロナ禍でのお
仕事の様子？

3

お仕事での目標
はなんですか？

4

学生時代に打ち
込んだことは？

5

後輩に就活への
アドバイスを！



まちづくり工学科は2013年に創設され、2017年には大学院まちづくり工学専攻修士課程を、2019年には同専攻博士課程を開設しています。この間、卒業生は新時代に直面する中で、学科が目指している「暮らしの総合デザイン」を社会で実現するために、専門知識や技術を持って、社会で幅広く活躍しております。

この広報誌の「卒業生の職場での活躍」の特集も今回で4回目になります。本号は4期生の卒業生8名が就職してから1年がたったところでの紹介をさせていただいています。この期の方々は、入社前から新型コロナウイルスの感染に注意を払いながら就職をされ、現在それぞれの職場で活躍されています。

在学生はもちろんのこと、これから当学科を目指したいと考えている高校生も、当学科の卒業生の就職先でのさまざまな経

験談や後輩への就活へのアドバイスから、ご自身がこれからそれぞれの道を進み社会生活をする上で、また在学時の勉学やさまざまな活動の仕方などに役立てていただけたと思います。

4期生の就職・進学の見込率は95%でした。現在、2022年3月卒業予定の6期生（現在の4年生）は内々定が出た人、また就職活動中の人と、新型コロナウイルス感染拡大予防の状況の中ではありますが、教員と学生が連携しながら、皆頑張り新たな歴史を積み上げていきます。

まちづくり工学科の特徴である幅広い就職先での活躍をご一読いただければ幸いです。また、広報誌『まち』のバックナンバーはまちづくり工学科のHPに掲載しておりますので、併せてお読みいただければと思います。

『まち』編集長 小木曾 裕

工藤 隼人

日本工営株式会社 社会システム事業部防災マネジメント部

卒論テーマ 避難場所の収容人数を考慮した津波避難計画に関する基礎的検討
(仲村研究室)

出身高校 千葉県立小金高等学校

好きな「まち」 ロンドン



1

私は、ソフト防災分野に係る計画作成や地域の合意形成に向けた支援業務に従事しています。主な業務のポイントは、「①公助の支援、②自助・共助の支援、③防災まちづくり」です。具体的には、自治体の防災計画・防災まちづくり計画の作成、防災訓練の企画・運営、学校における防災教育の実施支援、住民ワークショップの支援などがあります。

2

新型コロナウイルス対策として、在宅勤務の徹底や社内外問わずWEB会議の推進を図っています。加えて、テレワーク本格化を図るため、本社のフリーアドレス化やサテライトオフィスの開設が行われています。

3

私の考えている目標は、技術者と



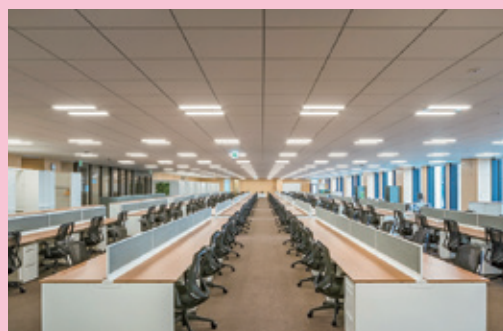
イギリスにある最大9万人を収容可能なウェンブリー・スタジアムでのサッカー観戦前

としての総合力の向上です。そのために意識する点を2つ定めています。

1つめは、業務経験を積むことです。ソフト防災分野は、災害リスクや地域特性、業務内容等で必要な知識や検討プロセスが異なります。そのため多くの業務を経験し、柔軟性を身につけたいです。2つめは、提案力の醸成です。顧客の要望事項や悩みに対して、確実に的を射た業務提案をするには、情報収集能力や思考力、物事への多様な視点が必要であると考えます。更に力を伸ばすためにも、上記のポイントを意識して取り組んでいきたいです。

4

まずは学業を第一と考えて日々の勉強に努めつつ、夢であったイギリスでのサッカー観戦に向けて、アルバイトにも熱心に取り組んでいました。勉強とアルバイトを両立させて、計画的に過ごす日々は楽しかったです。そして最も打ち込んだことは、研究室での活動です。研究内容や取り組み自体は困難



2020年1月に竣工した本社ビルの業務フロア
(現在は、各座席にモニターと飛散防止パネルを設置)

であり、うまくいかないことが多かったのですが、諦めないこと、さまざまな角度から試行することの大切さを学びました。また、発破をかけてくれる先生や明るくユーモアのある仲間たちに支えられて、充実した日々を送ることができました。

5

就職活動に関しては、早い段階で将来を考えて、自分の中で軸を作ることが大切であると思います。私はインターンシップに応募する前に、なりたい社会人像や興味ある分野などを整理し、就きたい業種を決めました。1つの軸を定めると、就職活動の目的が明確になり、漠然とした不安が薄れていきます。自分のやりたいことがわからない段階であっても、自分なりの答えを持って、就職活動に臨めると良いと考えます。また、インターンシップ・説明会等は、幅広い業種に参加することをお勧めします。これは学生の特権であり、自分の軸を見つめ直す機会になると思います。

どんなお仕事をしていますか？

2

コロナ禍でのお仕事の様子は？

3

お仕事での目標はなんですか？

4

学生時代に打ち込んだことは？

5

後輩に就活へのアドバイスを！

どんなお仕事をしていますか？

1



米 倉 滉 凱

株式会社竹中工務店 横浜支店 GLP 相模原倉庫作業所

卒論テーマ 聖地巡礼による地域活性化と持続性に関する考察
(小木曾・山崎研究室)

出身高校 千葉明德高等学校

好きな「まち」 軽井沢

コロナ禍でのお仕事の様子は？

2

1

作業所での施工管理をしていて、その中で自分は工事担当としてコンクリートと鉄筋の担当を行っています。作業所では現在1,000人近くの作業員の方が働いていて、竣工に向けて工事が進んでいます。

2

近年コロナ禍ということもあり、対策として消毒液や体温計の設置、朝礼時の人数の制限(職長のみ参加)や密室作業時のマスク着用、間隔をしっかりと取ったスペース(休憩室など)の確保などを行い、業務を行っています。

3

私は学生時代から上昇志向を常に持って生活していました。それは現在も変わらず持っているもので、今後もその思いを変えることなく突き進んでいこうと思っています。現在自分が目標としているのは、作業所長です。そこに至るまでにたくさんの勉強や資格の取得をしないと

お仕事での目標はなんですか？

3

学生時代に打ち込んだことは？

4

後輩に就活へのアドバイスを！

5

ません。はっきりと言ってそう簡単に勉強する時間が作れる職業ではないですが、空いている時間を少しでも見つけて勉強をしています。この目標に向かって常に上昇志向を絶えず持ち続けることが、私の抱負であり目標です。



事務所にて休憩中に

4

私が学生時代に打ち込んだことは、アルバイトです。ラーメン屋でのアルバイトはオープニングスタッフから4年間継続して行い、最終的にはアルバイトリーダーになりました。アルバイトの経験は社会人になってもとても役に立ちます。目上の人に対する対応方法やお客さまに対する接客技術、コミュニケーション能力や忍耐力もつきます。私はも

ともと施工管理になりたいと考えていたので、自分が社会人になるまでにどのような能力が必要かを考えて行動していました。自分自身のなりた

5

してその目標に向かって多くのことを学んでいくことが大事だと思い、アルバイトに打ち込んでいました。

どの会社にも募集人数には制限があり、志望している全員が受かるということはまずありません。そこで重要になってくるのが、どれだけ早く就職活動を行えるかだと思います。周りに合わせて動くのでは遅いです。自分の知らないところでもう選考が進んでいる人がいるかもしれません。後々後悔する前に、少しでも早く動くことが大事です。また、インターンシップは自分の思いを伝えるとてもいい機会であり、その会社がどのような働き方をしているのかを確認する場でもあります。積極的に参加をして、自分自身に合う会社なのかを把握することが重要です。コロナ禍で就職活動が大変だと思いますが、頑張ってください。応援しています。



日本造園学会関東支部大会のポスター発表時の様子

浅香 潤

大和ハウス工業株式会社 東京都市開発部

卒論テーマ 市街地環境と連携した都市農地のあり方に関する研究
(岡田・落合研究室)

出身高校 日本大学明誠高等学校

好きな「まち」 東京都府中市

1

不動産開発の推進等を行う都市開発部の中で、本年途中まで戸建開発の区割検討や面的複合開発のゾーニング検討を行いました。現在は、過去に自社で開発分譲した郊外型住宅団地の再耕(再生)を行っています。例えば、住宅団地内の道路や共有部の整備活用提案。団地外に位置する都市公園にて、地域住民の交流を目的に、地元事業者とイベント開催、カフェを含めたコミュニティ施設の計画を行っています。

2

住宅団地や公園等、現地での業務もありますが、感染症対策として、打ち合わせは社内外含め WEB 会議を積極的に活用。在宅での勤務が主となっています。

3

まちづくり工学科入学時の夢である「住民自らが住まうまちを他者に



都市公園内のコミュニティ施設実現に向けた地元事業者との意見交換

自慢したくなるまちづくり」を2つの方法で実現させます。

1つめは、利便性の高いまちづくりを計画し実現させます。当社の特徴である多様な用途の建築物（戸建・集合住宅、マンション、商業・物流・事業施設等）で構成されたまちを計画し、「このまちに住めば何でも揃う」と思っていたけるまちをつくっていきます。2つめは、人と人との関係性から実現させます。実務を通して、自慢したくなる魅力あるまちには地域コミュニティが必要だと強く感じたため、人の繋がりがまちの魅力となる仕組みを作っていきます。

4

まちづくりに関わる多世代の方とコミュニケーションを取るよう心がけていました。

例えば、地元再開発ビルに入る飲食店でのアルバイト（接客）では、料理の価値を伝える傍ら、お客さまの日常会話より地元の良しあしを聞き出すこと。大学生活においては、研究室が関わる住民ワークショップ、オープンキャンパスの運営、卒業研究のヒアリング等を通じて、産学官民の幅広い年代の方とまちづくりに関わる話をしました。

その成果もあって



1

どんなお仕事をしていますか？

2

コロナ禍でのお仕事の様子は？

3

お仕事での目標はなんですか？



アルバイト中の接客の様子

か、就職活動時の面接官に「浅香君はコミュニケーション能力が高い」と評価をしていただけました。

5

新卒での就職活動は一回きり。転職ありきではなく、希望職種に新卒で就けるような準備を一日も早く進めることをお勧めします。

私は3年生の6月には、不動産開発に携われる民間企業に絞っていました。民間企業で仕事をしたい強い理由付けをするために、公務員の説明会にも参加。また、建設会社で都市開発部門がある企業すべてに接触し、同年11月からは毎週企業訪問をしていました。もちろん、友人とも全力で遊びながら（笑）。

仕事は人生で最も時間をかけて取り組むものです。お金のためだけでなく、楽しい夢や目標のためにも働けるよう、後悔のない就職活動にしたいです。

4

学生時代に打ち込んだことは？

5

後輩に就活へのアドバイスを！

1 どんなお仕事をしていますか？



江口 真由

JR 東日本ビルテック株式会社

卒論テーマ 『徳川実紀』にみる江戸時代前中期の水害対策に関する研究
(阿部研究室)

出身高校 共栄学園中学高等学校

好きな「まち」 葛飾

2 コロナ禍でのお仕事の様子は？



線路の周りに支障物がないかを確認

3 お仕事での目標はなんですか？

1

私の仕事は、JR 東日本の駅、事務所等の建物や設備の保守点検や修繕を行うことです。私たちの仕事は決して目立つものではありませんが、駅を利用しているお客さまの安全を守ること、当たり前の日常を支えることに毎日責任感を持ち、働いています。

2

コロナ禍の中で現在ではWEBでの打ち合わせが増え、日々JRの方ともコミュニケーションを取りながら仕事をしています。働き方としてもフレックス制や在宅勤務等を実施し、それぞれの生活に合わせた働きやすい環境であると思います。

3

2年目の抱負としては、能動的に行動し業務を進めることです。1年目の頃はまだ知識が浅いこともあ

り、先輩方や協力会社の方々からアドバイスをいただきながら障害対応を行っていました。2年目になり段々と知識も身につけてきたので、障害が起きてただ対応するだけではなく、どのような処置をすれば同じ障害が繰り返されないのかを考える力を身につけていきたいと思っています。保守点検の仕事はその建物の状態を見極め対応するため、1つ1つの駅と長く付き合っていくにはいけません。経験を積み、その駅舎にあった処置を考えられる社員になりたいです。

4

私は、学生時に所属していた阿部研究室にて、やり遂げる大切さを学びました。私たちが4年次に、阿部教授が1年間海外出張に行かれていたこともあり、仲間と協力し合いながら研究を進める機会が多くありました。教授が不在の中、不安に感じる時もありましたが、仲間と助け合いながら、各自が自分の研究だけではなく、それぞれの研究についてもアドバイスしつつ、約1年間過ごしてきました。自分一人だけでは研究は進められず、阿

部教授、院生の先輩方、研究室の同期の力があり、卒業論文を無事に書き上げることができたと思います。

社会人になり大きな壁にぶつかる時もあると思いますが、研究室で学んだ「最初から『できない』と決めつけず最後まで全力で挑戦すること」を胸に、これからも仕事に取り組んでいきたいと思っています。

5

就職活動で大切なことは、自分と向き合うことだと思います。最初から自分の将来の道を決めてしまうのではなく、自分がやりたいことは何か繰り返し考え、広い視野を持ち動いてみてください。そうすることで今まで見ていなかったものもだんだん見えてきて、新しい道が見つかるかもしれません。不安に感じる時もあるかもしれませんが、自分らしさを大切にし、ありのままの自分で臨めば、きっと自分の魅力が会社に伝わるはずです。時には息抜きもしつつ、後悔のないよう頑張ってください！

4 学生時代に打ち込んだことは？

5 後輩に就活へのアドバイスを！



卒業研究発表会后、研究室の仲間たちと

小島 義人

西武鉄道株式会社 工務部保谷保線所

卒論テーマ 景観性が評価された桁橋の力学特性に関する一考察
(仲村研究室)

出身高校 千葉県立柏中央高等学校

好きな「まち」 京都



1

西武鉄道の使命は、お客さまに安全・安心を提供することです。私が所属する保線所では、日々の線路の保守・維持管理をはじめ、沿線のお客さまからいただくご意見への対応などを行っています。具体的には、工事の設計・積算及び現場の安全管理、関係各所との協議を行っています。

2

世の中が新型コロナウイルスの蔓延によりさまざまな影響を受けていますが、鉄道は日々お客さまを輸送しています。業務ではリモートワークや分散勤務、WEB会議を取り入れながら、感染防止を十分に講じ、柔軟な業務態勢で業務を遂行しています。

3

現在は主に軌道・土木工事を担当



協力会社の方と現場で打ち合わせ (中央)

する部署に所属していますが、西武鉄道には多くの部署が存在し、旅客誘致や沿線開発など多種多様な業務を行っています。新型コロナウイルスをはじめ、少子高齢化、リモートワークなど、社会環境の変化により事業環境にも変化が生じてきています。それらに対応すべく会社全体としてIOTやICTを活用したDXを推進しており、今まであまり触れてこなかった分野の勉強も自ら積極的に行い、社会の変化、ニーズにスピード感を持って対応できるスキルを習得し、また幅広い分野において経験を積んでいきたいと思っています。

4

学生時代は卒業研究に注力しました。使い慣れないパソコンや専門のソフトを相手に、毎日研究室で頭を抱えていたことが印象的です。研究はもちろん大変だと思っていましたが、先生をはじめ研究室の仲間にも恵まれ、4年間で最も充実した日々を送ることができました。研究室での活動は、研究だけ



研究室で行った草津旅行 (下段左から2番目)

5

でなく旅行などの行事もあり、すごく良い思い出になっています。学生時代に何かに一生懸命になれたということは今でも自信につながり、研究内容の知識だけではなく、PCスキルなど社会人としての基礎を学んだことも、自分の糧になっています。

まずは行動することが非常に大切だと実感しています。興味のある業界のインターンシップへの参加や説明会に行ってみることで、何でも良いと思います。実際に足を運びさまざまな企業を見ることで、自分がやりたいことを見極めることができると思います。私は大学3年生の時に資格取得の勉強をしていましたが、就職活動を通じて今感じることは、資格取得も大切ですが、なぜその資格を取るのか、取るためにどのように工夫し頑張ったのかが非常に大切になります。さまざまなことに理由を持って取り組んでいただきたいと思います。

どんなお仕事をしていますか？

1

コロナ禍でのお仕事の様子は？

2

お仕事での目標はなんですか？

3

学生時代に打ち込んだことは？

4

後輩に就活へのアドバイスを！

5

1 どんなお仕事をしていますか？

2 コロナ禍でのお仕事の様子は？

3 お仕事での目標はなんですか？

4 学生時代に打ち込んだことは？

5 後輩に就活へのアドバイスを！



篠原 涼

日本大学生産工学部 教務課

卒論テーマ 地方自治体の人口減少問題に関する抜本的対策に関する研究
(依田研究室)

出身高校 静岡県立富士宮西高等学校

好きな「まち」 長野県白馬村／山梨県山中湖村

1

業務内容は、主に、学生や保護者からの履修等の問い合わせ対応のほか、証明書発行業務、バックオフィスの部分では、課内にて必要な消耗品の調達・支払い・教室設備の管理など、多岐に及びます。とくに、2年目になり大学院業務なども任されるようになり、勉強の日々です。大学の業務は、内規等をしっかりと理解しておく必要があり、業務と並行して進めるのは、最初のうちはかなり大変ではありましたが、次第に慣れてきています。

2

去年はとくに、コロナの影響から、教室内のソーシャルディスタンスを確保するため、全教室の座席間距離を測り、座れる席にシールを貼るなどの作業にも追われました。

3

1年間は思っている以上にあっという間に過ぎ、2年目となると勉強

ばかりでなく実務も非常に大切になってきます。昨年は、業務中に改善した方が良くと思うことをメモにまとめていたので、気づいた問題点を少しでも改善できるように工夫したいと思います。また、同じ部署にも後輩が入ってきたので、先輩として少しでも教えられる立場になればと思っています。



生産工学部の前で。理工学部とキャンパスのつくりも違い、新鮮です

4

学生の時は、大学行事や千代田区でのボランティア活動など、時間のある大学生の時にしかできないことに集中していました。コロナ前ということもあり、少しでも時間がある時は研究室に行って、学内にいる先生や先輩・後輩とよく話をしていました。人それぞれ考え方が違い、毎日の会話の中で刺激を受け、とても有意義な時間でした。また、昔から本が苦手だったのですが、大学の図書館で100冊程度本を根気強く読んだところ、好きになりました。苦手なことや毛嫌いしていることがあったら、皆さんも時間の

5

あるこの時期に挑戦してみると良いかもしれません。

就活のアドバイスを2年前の先輩に聞いてはダメです。なぜなら、とくに民間企業を中心にコロナの影響から面接方式や試験内容を変更したりしているところが多いからです。大学に行けない分、本年度就職された先輩から情報を得たり、自ら企業について勉強した方がよっぽど効果的です。就活は、一部テクニク的な部分も確かにあるかと思いますが、それよりも、1年生から3年生の間でどういう大学生活を行ってきたかで勝負が分かれると思います。皆さんが思っている以上に経験とはすごいものです。就職するとわかると思います。コロナの時期で、実際に足を運び現地を見るのは難しいかと思いますが、ぜひともあらゆる経験を増やしてもらいたいと思います。



オープンキャンパスの運営に参加した時の様子

久保大樹

国土交通省四国地方整備局 徳島河川国道事務所

卒論テーマ 地域建設業者の災害応急対応に関する課題抽出
(仲村研究室)

出身高校 愛媛県立松山北高等学校

好きな「まち」 愛媛県久万高原町



1

私は、日本三大暴れ川のひとつとして知られる、徳島県の吉野川において築堤事業に携わっています。主な仕事は工事発注で、堤防や樋門などの治水構造物を造る工事の積算作業（工事を実施するためにどの程度の費用が必要か計算する作業）や資料作成に取り組んでいます。現場に行くのは月に二回程度ですが、堤防がなかった場所に住民の暮らしを守る構造物ができていく様子を見ると、仕事のやりがいを強く感じます。

2

コロナウイルス感染症に対しては、常時マスクを着用、パーティションを設置、業者さんとの打ち合わせや現場確認をWEB上で実施するなど、さまざまな対策をして業務に取り組んでいます。

3

採用1年目は愛媛県でダム管理に



最近完成した堤防のドローン写真

従事し、2年目である今年から徳島県で吉野川における築堤事業に携わっています。四国内での異動があるため、担当する仕事によって業務内容が少し異なります。どこに配属となっても効率的に仕事が行えるよう知識をつけながら成長することが目標です。

職場は、上司や先輩に相談しやすい環境であり、充実した毎日を過ごすことができています。仕事に対して「なぜ？」と疑問を持つ癖をつけ、取り組んでいる業務の意義や根拠を理解することが重要なことだと思っています。

4

3年次から始まった研究室での活動に最も打ち込みました。防災に関する知識を身につけ、仲間と苦楽を共にし、卒業論文の作成に取り組んだことは、かけがえのない財産になっています。

また、学業以外の活動として、自分が興味を持ったことや経験になると思ったことには積極的に取り組みました。先生からお声がけいただいた土木雑誌の執筆活動や、4年間取り組んだ地域活動など、さまざまな経験を



研究室でアスレチックに行きました

5

することで、コミュニケーション能力や考える力が向上し、仕事にも活かされています。

公務員試験に臨むにあたり、理工学部の公務員試験対策講座に参加していました。担当する先生方は公務員試験対策のプロであり、単純な知識だけでなく簡単な解き方なども教えていただきました。また、講座の前後は大学の自習室に仲間とこもり、集中して勉強できる環境を作っていました。民間企業志望者が内定を取っていく中で、勉強を続けるメンタルも公務員を目指すにおいては必要なことです。公務員を目指す仲間を見つけ、勉強することをお勧めします。

また、試験についてわからないことがあったら、研究室の先生や各専門の先生、先輩に相談するべきです。私は当時、人に聞くことが苦手で、わからないことをそのままにしてしまう悪い癖がありました。ささいなことであってもわからないことは人に聞くことが大切です。

どんなお仕事をしていますか？

2

コロナ禍でのお仕事の様子は？

3

お仕事での目標はなんですか？

4

学生時代に打ち込んだことは？

5

後輩に就活へのアドバイスを！

どんなお仕事をしていますか？

コロナ禍でのお仕事の様子は？

お仕事での目標はなんですか？

学生時代に打ち込んだことは？

先輩に就活へのアドバイスを！



新橋一士

東京都都市整備局 第二市街地整備事務所

卒論テーマ 寺社に接続する道空間を対象としたまちづくりに関する研究—朱引内に立地する「横道型」の寺社にみる「寺社情緒」の空間的波及状況—（岡田・落合研究室）

修論テーマ 市街地環境を活用した都市農地の保全方策に関する研究—生産緑地所有農家の経営形態に着目して—（岡田・落合研究室）

出身高校 日本大学豊山高等学校

好きな「まち」 軽井沢の街並み

1

私は主に再開発や区画整理等の面整備に付随する道路事業を執行するための出先事務所にいます。この事務所の道路事業で皆さんが知っているような場所だと、過去に整備された虎ノ門ヒルズの直下を通る道路、現在整備中だと東池袋付近の都電荒川沿線の道路があります（写真参照）。この事務所の中でも、道路を施工するために必要な対外調整、設計、工事監督を行う工事課という部署で仕事をしています。私は主に、私の部署で作り上げた道路を将来、補修工事したり維持管理する部署に引き継ぐために必要な図書の作成、またこれらを円滑に進めるための対外調整、請負業者の監督業務をしています。



私の事務所では虎ノ門、東池袋といった都会のど真ん中から23区を外れた郊外まで多岐に亘る地区での道路事業を行っています

3

私の担当業務は、道路がいつ出来上がってくるのかなど、課内のほかの担当の動きを把握、予想して仕事を進めていく必要があります。そのため、道路事業を執行していくためのスキームを押さえながら知識を習得していきたいと思います。その一方で、当然仕事を進めながら知識を習得していくため、限られた時間の中で、どこまで理解すべきかのレベル間を見定められるようになり、手際良く仕事を進められるようになりたいです。

また、当たり前のことですが、公的サービスを提供する立場として、都民のために従事しているということを常に意識して、この観点から考えたアイデアをひとつでも多く盛り込んで仕事ができるよう努めていきたいと思っています。

4

主に研究です。

学部時代には都内の寺社巡りをして過去と現在の空間を照らし合わせることで、寺社の参道空間の変容状況を解明する研究に取り組みました。大学院時代には都内だと練馬区や世田谷区に多く残存する市街地の中にある都市農地にスポットを当

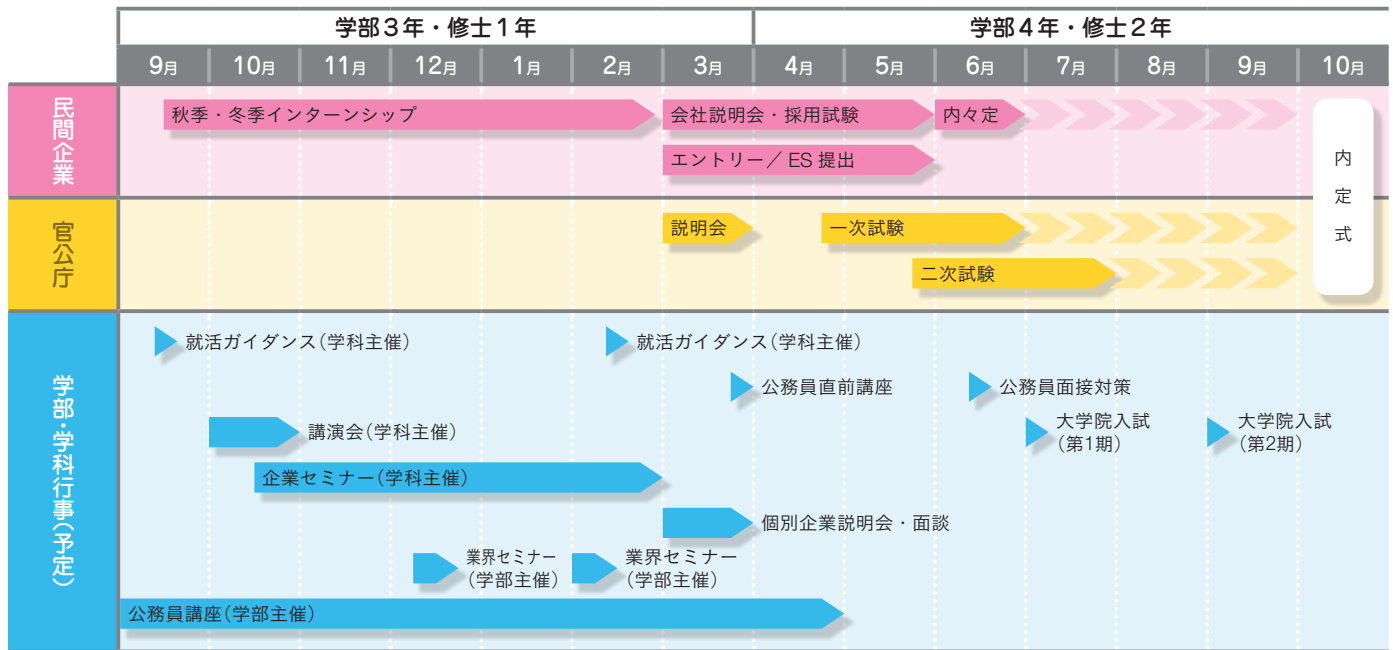
て、減少し続ける都市農地を今後も存続させるために現状の法律に課題はないのか、田舎とは違う市街地を活かすことでメリットがある農業経営はないのか、こんな観点から、都市農地に関わる法律の整備状況や農家の取り組みを調査する研究に取り組んできました。

5

悩みに悩んで就職先を決めたわけではない私からで恐縮ではありますが、学生時代にイメージした社会人と現実の社会人とのギャップで悩んでいる身近な社会人の方を見ていて思うのは、仕事内容から自分が興味ありそうな企業を選ぶだけでなく、その企業に入ったらどんな生活が送れるのかについても想定し、自らが許容範囲とする生活スタンスを築ける企業かどうかを検討してみるのも重要なのかなと感じています。そのため、これから就職活動する方は、自らが許容範囲とする生活スタンスについて自己分析することもぜひ検討してみてください。



愛知県名古屋市内で都市農業を営む農家さんに、農業の取り組みについて聞き取り調査



キャリア支援・就職活動の概略スケジュール

就職活動はみなさんの今後を左右する大切な機会です。この就職活動を機に、真剣に将来を考え、悩み、自分の道を切り拓いてください。

1. スケジュールを確認しよう

みなさんが対象である2023年卒の就活スケジュールについては、昨年度までのスケジュールを踏襲する方針が政府より示されています。しかし、実際には多くの企業がこれよりも早い日程で実質的な選考を進めていくことが想定されます。

公務員試験については国家公務員採用情報 NAVI (<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>) や公務員試験情報こむいん (<http://comin.tank.jp/>)、各自治体のホームページ等を頻繁に確認して情報入手しましょう。

本学大学院入試は、例年6月下旬～7月初旬(推薦・一般第1期)、9月(一般第2期)、3月(一般第3期)に行われます。研究活動を通じて人間力を高め、自分の可能性を広げるためにも大学院進学を検討しましょう。

2. 始動しよう

9月13、14日に第1回就職活動ガイダンスをオンラインで開

催しました。修士2年生や学部4年生による座談会を始め、学科のサポート体制も紹介しました。機は熟したのです。さあ本気で就活を始めよう。

3. 情報収集しよう

・まち科「就職活動支援ポータルサイト」を活用しよう！

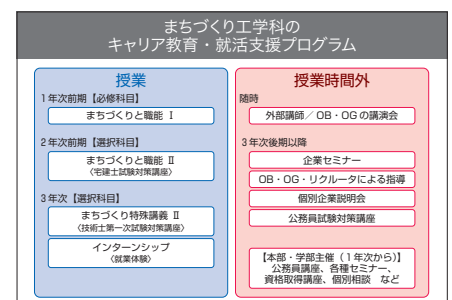
学科独自の就活支援ポータルサイトです。インターンシップ・セミナー・説明会などのイベント情報、学校推薦や求人などの情報、まちづくり工学科の先輩たちが残してくれた貴重な就職体験記・公務員試験合格体験記などが閲覧できます。一般の就活支援サイトには掲載されない貴重な情報もあります。今後情報を更新していきます。また、就職全般／公務員メーリングリストでもさまざまな情報を発信していきます。

・まち科や大学主催の行事に参加しよう！

まちづくり工学科で「企業セミナー」「個別説明会・面談」「公務員対策講座」をオンラインで開催予定です。実際に働いている方々の話を直接聞いたり、質問をできる貴重な機会です。パンフレットやインターネットでは入手できない、みなさんが本当に必要とする情報を得るチャンスです。積極的に参加しましょう。また、本部や学部が主催する「公務員講座」「業



第1回就職活動ガイダンスの様子



まちづくり工学科のキャリア教育・就活支援プログラム

界セミナー」なども開催されます。詳細は、まち科就活支援サイトで案内します。

・就活関連の冊子を活用しよう！

「CAREER2022」は理工学部オリジナルの就活支援冊子です。また、書店にはSPIや玉手箱等の筆記試験対策、履歴書・ES（エントリーシート）の書き方、面接対策、公務員試験対策など就活に関する本が多数あります。必要に応じて自分にあったものを選ぶと良いでしょう。

・就活支援サイトやNU就職ナビを活用しよう！

秋季／冬季インターンシップ・合同セミナー・説明会などへのエントリーや申し込み、書類提出もこれらのサイト経由で行う企業がほとんどです。

・周りの人に相談しよう！

自分の考えを整理したり、自分の意思を確認するためにも、家族、友人、ゼミ・卒研の指導教員、就職指導課キャリアアドバイザーなど身近な人に相談すると良いでしょう。所属研究室・ゼミに関係なく、学科の就職指導担当教員（八藤後・田中・仲村）、公務員指導担当教員（高村・後藤・八藤後）も、もちろん相談にのります。

・就職指導課を活用しよう！

就職指導課では、常駐のキャリアアドバイザーから就職活動全般についての相談、ES（エントリーシート）や履歴書の添削、面接対策等の指導が対面またはオンラインで受けられます。詳しくは就職指導課のホームページを参照してください。

まちづくり工学科 就職活動支援ポータルサイト

日本大学メールアドレスでログイン後に、以下のURLもしくはQRコードで就活ポータルサイトへアクセスしよう！

<https://sites.google.com/nihon-u.ac.jp/machicarrier/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>



まちづくり工学科の教員及び学生のみ閲覧可能

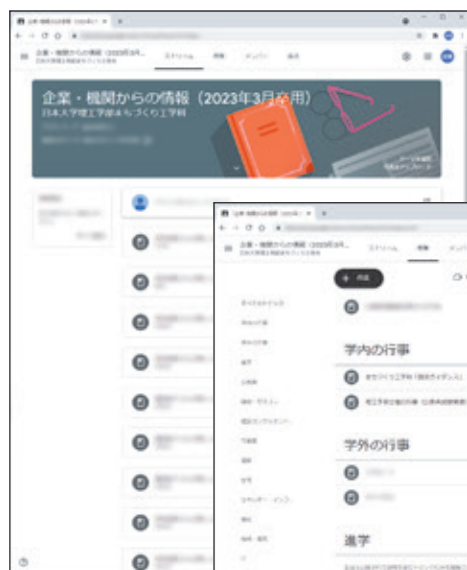


就活支援ポータルサイト トップページ

4. 授業について

就活に気をとられ過ぎて授業をサボってばかりでは本末転倒です。大学は就職予備校ではありません。みなさんが最優先すべきことは大学での勉強であることを決して忘れずに。

われわれ教員はできる限りみなさんをサポートしていきます。相談などあれば遠慮なくどうぞ。



Google Classroom
企業・機関からの情報



Google Classroom
就活体験記



令和3年度前期 “まち” 行事・イベントカレンダー

3/25 木 卒業式（学位記伝達式）（駿河台キャンパス 1号館（151・152教室）午前11時開始）

例年、学位記伝達式は武道館での卒業式挙行後、午後に実施していますが、本年度は密を避けるため、午前に実施しました。また、151教室における式典の様子は、ライブ配信も行いました。

※写真の説明文は令和2年度の研究室名です。また、写真撮影時のみマスクを外しています。



阿部研究室



天野・西山研究室



岡田・落合研究室



押田研究室



後藤研究室



仲村研究室



大学院生



4/1 木 - 8 木 前期ガイダンス

〈教室主任〉岡田 智秀（補佐：後藤 浩）

〈担任〉1年生 阿部 貴弘、依田 光正、牟田 聡子

2年生 八藤後 猛、押田 佳子

3年生 田中 賢、落合 正行

4年生 後藤 浩、西山 孝樹（補佐：田島 洋輔）

大学院 仲村 成貴

〈就職〉仲村 成貴、後藤 浩、田中 賢、八藤後 猛、高村 義晴

〈学務〉後藤 浩

〈広報〉西山 孝樹



4/5（月）1年生前期ガイダンスの様子（船橋キャンパス）

4/8 木 入学式

4/9 金 前期授業開始

学部の授業は、新型コロナウイルスワクチン職域接種の期間を除き、実験・実習科目および実験・実習科目と同日に開講されている座学の科目は対面（なお、対面時は学生を2グループに分けて隔週で入構）、それ以外はオンラインで実施しました。大学院の授業は原則として、すべての講義をオンラインで実施しました。



1年生「測量実習Ⅰ」で実施したTS（トータルステーション）の据付と測距・測角（船橋キャンパス）

5/8 土 2年生 オリエンテーション（オンライン）

本格的にまちづくりの専門科目に取り組む2年次には、教員との交流を通じ「まちを見る目」を養うため、例年まち歩き形式で「オリエンテーション」を実施しています。コロナ禍にある本年度は、まちづくり工学科の教員が取り組む多様な「まちづくり」についてオンライン講座を通じて知ってもらい、今後の学びにつなげる場として実施しました。

No.	教員名	タイトル
01	特任教授 高村 義晴	ライフスタイルとまちづくり
02	特任教授 小木曾 裕	お洒落な原宿・表参道の歴史と今～都市計画とランドスケープと食の視点で探訪～
03	教授 依田 光正	それぞれの人が感じるバリアを越えられるまちづくりについて
04	教授 阿部 貴弘	神楽坂 ヴァーチャルまち歩き
05	助教 西山 孝樹	観光の醍醐味～旅の準備から現地の楽しみ方まで～

No.	教員名	タイトル
06	助教 牟田 聡子	働き方×まちづくり～私の働き方をまちづくりから考えてみよう～
07	教授 後藤 浩	水災害をキーワードにして社会基盤構造物の役割を知る
08	准教授 山崎 晋	都市計画の視点で、これからの建築・都市の空間活用について考えてみよう
09	助教 落合 正行	リノベーション建築巡り～谷根千エリア編～
10	教授 岡田 智秀 助手 田島 洋輔	〇〇まちづくりの魅力を学ぶ～景観・防災・環境の各視点からの楽しみ方～
11	教授 仲村 成貴	小江戸川越まちあるき オンライン version
12	教授 田中 賢	安全・安心からまちづくりを考える～田中の関わった事例紹介を通して～
13	教授 八藤後 猛	まちづくりにおける人々の平等
14	特任教授 天野 光一	東京の近代土木遺産とまちづくり
15	准教授 押田 佳子	アフターコロナの観光を考えるー鎌倉観光を題材として



6/6 付属高校生のためのオープンカレッジ (オンライン) 参加者：102名



6/26 後援会父母面談会 (駿河台キャンパス タワー・スコラ (S301～S304教室))



7/11 駿河台入試フォーラム (駿河台キャンパス タワー・スコラ (S304教室)) 参加者：343名



7/24 令和3年度第1回修士論文審査会 (駿河台キャンパス タワー・スコラ (S204教室))

大学院理工学研究科まちづくり工学専攻博士前期課程1年生 (M1) の学生7名が審査会に臨み、会場およびオンラインからは活発な議論、質疑応答が行われました。

No.	氏名	発表タイトル
1	秋元 美咲	歩行補助つえ使用時の「動きにくさ評価」およびつえ使用者と未使用者の意識に関する研究
2	伊東 裕	まちづくり政策の客観的評価に関する研究ー適疎のまち・北海道東川町を事例としてー
3	榎本 桂介	公共空間における私的利用と社会的許容ースケートボーダーと社会との関係を通してー
4	北村 駿季	人々の生活と空間選択から見る、各地域のパブリックスペースが担う役割ー東京のしゃれた街並みづくり推進条例に該当する公開空地を対象としてー
5	小島 大祐	民間空地等の一体的な活用に関する研究ー東京のしゃれた街並みづくり推進条例のまちづくり登録団体を対象にー
6	西原 大夢	耕作放棄地等の再生・利用に関する研究ー農政局公表の再生・利用事例を対象としてー
7	勇崎 大翔	伊豆半島「津波対策地区協議会」を通じてみた津波防災まちづくりに関する研究ー各地区の協議方針と地域特性の関係に着目してー



8/1 バーチャルオープンキャンパスーOnline Special Day!@CSTー 参加者：115名





令和3年度にオープンキャンパス等で受験生の皆さまと直接お会いできたのは、7月11日(日)に実施した「駿河台入試フォーラム」のみで、そのほかのイベントはオンライン開催となりました。

オンラインで実施した各イベントでは、Web 会議システム Zoom のブレイクアウトルーム機能を使用し、参加者の皆さまが現役学生と直接お話ができる少人数制の「バーチャルツアー」を実施しました。さらに、YouTube Live 配信も行い、教員による学科紹介や学生によるキャンパスライフ紹介、本年度から実施している千葉県富里市を対象とした『まちづくりワークショップⅡ』の成果発表等をお伝えしました。当日の様子は、下記のサイトで一部を動画で公開しておりますので、ぜひご覧ください。

「日本大学理工学部まちづくり工学科 広報」
YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UC5Pm_A1Eya41rn9nBI0csMQ/videos



全国での新型コロナウイルス陽性・感染者が急増している状況を鑑み、全国5会場での開催は中止となり、電話形式で面談を実施しました。

後援会役員 2年 尾崎彰吾 3年 三浦邦明 4年 渡邊和樹 大学院 菊池秀夫

退職のご挨拶

青木和夫 特任教授



日本大学大学院理工学研究科に医療・福祉工学専攻が新設されたときから29年間お世話になりました。私の専門は人間工学と健康増進です。まちづくり工学科の設置とともに本学科に所属しましたが、私のような専門領域の教員の役割は「まち」が住民が中心となって住民のために設計されるということから、住民(=人間)のさまざまな特性を研究することだと思います。私の専門の健康増進では、「健康づくりはまちづくりから」という標語が使われ、健康づくりのためには生活環境を整備することが重要だとしています。私は長い間健康のことを研究してきましたが、まちづくり工学科に所属することで健康増進のための具体的な方法としてのまちづくりを学ばせてもらいました。皆さまありがとうございました。

城内 博 特任教授



2002年4月に厚生労働省産業医学総合研究所から日本大学大学院理工学研究科医療・福祉工学専攻に転職し、その後まちづくり工学科の設置にも参加させていただきました。理工学部に着任してからは、医療・福祉工学専攻の公募でしたが、これは青木先生の発案でなされたもので後で知りました。この度恩人でもある青木先生と共に退職することになり感慨深いものがあります。今後は労働安全衛生総合研究所(元勤務先が名称変更)に戻り、働く人の健康に関わる仕事をしていく予定です。お世話になった皆さまに心より感謝申し上げます。まちづくりは今後さらに重要性を増します。皆さまのご活躍に期待しています。

編集後記

今年3月31日に卒業生から電話を貰いました。「就職して1年無事に仕事を勤めることができ、本当に良い就職ができたと思います。いろいろとありがとうございました。コロナが落ちつきましたら、まち科にご挨拶にお伺いいたします」との元気な声が聞け嬉しかったです。本号の特集は、卒業生のコロナ禍での各職場での活躍ぶりや現在の就職活動の状況、就職支援の取組等を掲載しています。在学生への先生方の対応や学生のためのさまざまな配慮を知っていただければとの思いがございますので、これからの学生生活の糧にいただければ幸いです。(小木曾裕)

学会・協会等の受賞、テレビ放映や新聞・雑誌に掲載された記事、書籍の出版など、本学科の教職員・学生の活躍を紹介します。

〔受賞〕

■ 教授 田中 賢

大府市 感謝状 一般表彰

対 象：多年にわたり地方自治の進展に貢献し、その功績が特に顕著であるもの

受賞年月日：2021年9月4日

■ 助教 西山孝樹

令和3年度土木学会土木史研究発表会「優秀講演賞」（一般）

対 象：井澤弥惣兵衛為永に関する既往研究と一次史料—紀州藩内の事績を中心として—

受賞年月日：2021年6月20日

〔書籍に掲載〕

■ 教授 阿部貴弘

書籍名：『都市自治体におけるツーリズム行政—持続可能な地域に向けて—』
第3章「地域のインフラを活用した観光の可能性」

出 版 社：公益財団法人日本都市センター

発 売 日：2021年4月12日

■ 准教授 山崎 晋

書籍名：『住まいの百科事典』

出 版 社：丸善出版

発 売 日：2021年4月28日

〔新聞に掲載〕

■ 教授 阿部貴弘

記事「2021 ストックマネジメント 土木遺産 歴史的価値評価の動き広がる」(32面)

掲 載 誌：日刊建設工業新聞

発行年月日：2021年3月26日

■ 客員教授 清水英範

記事「新技術の普及、技術者育成に尽力」(国土交通省発足20周年祝辞)

掲 載 誌：日刊建設工業新聞

発行年月日：2021年6月15日

記事「教育活動を強化し人材を育成」(インタビュー記事)

掲 載 誌：日刊建設工業新聞

発行年月日：2021年8月18日

〔テレビに出演〕

■ 教授 後藤 浩

日本放送協会（NHK）：『NHK NEWS おはよう日本』

浸水した「まちなか」を避難する際、数百メートルの避難であっても、濁った水で見えない障害物がいくつも存在することがわかってきました。浸水時の避難は危険であり、水害発生前の事前避難が大切であることをお伝えしました。

出 演 日：2021年7月9日

〔雑誌等に掲載〕

■ 教授 後藤 浩

記事「道だより “浸水時の道に潜む危険”」

掲 載 誌：『人と国土21』Vol.47, No.3（一般財団法人国土計画協会）

発行年月日：2021年9月15日

■ 客員教授 清水英範

記事「渋沢栄一の「温故知新」

掲 載 誌：『インフラ整備70年—戦後の代表的な100プロジェクト』Vol.4（建設コンサルタンツ協会）

発行年月日：2021年4月15日

記事「日本測量協会創立70周年を迎えて」

掲 載 誌：『測量』Vol.71, No.5（日本測量協会）

発行年月日：2021年5月10日

記事「日本の測量・地籍と土地家屋調査士の期待—その1（國吉正和氏との対談記事）」

掲 載 誌：『土地家屋調査士』No.776（日本土地家屋調査士会連合会）

発行年月日：2021年9月15日

■ 准教授 押田佳子

記事「グリーンムーブメント『「けもの道」にみる動物との共存のあり方』」

掲 載 誌：『高速道路と自動車』Vol.64, No.4（公益財団法人高速道路調査会）

発行年月日：2021年4月1日

記事「グリーンムーブメント『自然と人が共存する架け橋「アニマルパスウェイ』」

掲 載 誌：『高速道路と自動車』Vol.64, No.5（公益財団法人高速道路調査会）

発行年月日：2021年5月1日

記事「グリーンムーブメント『せんなん里海公園における陸ガニの道づくり』」

掲 載 誌：『高速道路と自動車』Vol.64, No.6（公益財団法人高速道路調査会）

発行年月日：2021年6月1日

■ 助教 落合正行

記事「住まいと農業を絡めたネットワーク『ワカミヤハイツアーあだち農まちプロジェクト』」

掲 載 誌：シンポジウム「コモンズを再生する東京」リーフレット

発行年月日：2021年3月13日

記事「連載『屋根から読み解く 住宅の空間一道に開いた下屋』」

掲 載 誌：『ディテール』2021年4月号

発行年月日：2021年3月17日

〔講演等〕

■ 教授 阿部貴弘

歴史と文化を育むまちづくり

主 催：ちよだ生涯学習カレッジ

開催年月日：2021年5月26日（オンライン開催）

なぜ、景観に取組むのか？ ～景観形成重点地区指定の意義と展望～

主 催：相模原市都市デザイン行政研修会

開催年月日：2021年7月28日（オンライン開催）

■ 教授 岡田智秀

市民・事業者等に向けた景観まちづくり講演「こしがやの景観行政と景観特性について（動画）」

主 催：越谷市役所

開催年月日：2021年3月25日～現在（オンラインで公開）

（第1回）五井駅東口周辺未来ビジョンミーティング「五井駅の現状の課題点と魅力点について」（コメンテーター）

主 催：市原市役所

開催年月日：2021年7月18日

御前崎市観光組織体形成に向けたワークショップ「観光組織体構築のための方向性について」（コメンテーター）

主 催：御前崎市

開催年月日：2021年8月2日

■ 教授 仲村成貴

2016年熊本地震における建設技術者の応急対応に関する調査成果報告会「建設業事業者へのアンケート結果」

主 催：土木学会地震工学委員会熊本地震における建設技術者の応急対応に関する調査小委員会、熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター

開催年月日：2021年5月10日

土木学会令和3年度全国大会研究討論会（1）突発大災害にレジリエントな地域社会の構築と建設技術者の役割「建設業事業者へのアンケート結果」

主 催：土木学会地震工学委員会熊本地震における建設技術者の応急対応調査小委員会・安全問題研究委員会

開催年月日：2021年9月6日

■ 准教授 山崎 晋

2021年度日本建築学会大会（東海）パネルディスカッション「大学教員のワークライフバランス・パートナーシップの実態と問題提起」

主 催：日本建築学会男女共同参画推進委員会

開催年月日：2021年9月10日

■ 客員教授 清水英範

憲法、民法を通して見る日本の土地政策

主 催：KIT空間情報プロジェクト（金沢工業大学）

開催年月日：2021年5月28日（オンライン開催）

■ 助教 落合正行

第64回フミコム cafe オンライン「空き家を活用したい居場所づくりの可能性」

主 催：フミコム（文京区社会福祉協議会）

開催年月日：2021年7月28日

オンラインレクチャー「住まいにシェア空間をつくる理由とその方法」

主 催：東京大学大学院

開催年月日：2021年9月6日

〔出展〕

■ 助教 落合正行

EToS 特別展「〈人・場所・物語〉—Intangibleなものに継承する江戸東京のアイデンティティ」

会 期：2021年9月7日～10月3日

会 場：法政大学市ヶ谷キャンパス HOSEI ミュージアム 他全4会場

随時情報を小木曾・西山へメールでお寄せください。なお、本年度の学会等での発表は、次号（3月発行予定）にまとめて掲載します。